



理解度確認テスト 中級

模範解答

災害の基礎知識について

問1 ③	解説	災害発生により「何かをしたい」という思いはとても大切ですが、自分勝手な行動では有難迷惑になります。養成講座資料 P 4
問2 ④	解説	災害情報を図面に起こし、視える化することはとても重要です。実際の災害でも公開される情報をその都度正確に更新していきます。
問3 ③	解説	発災時は女性や子どもなど弱い立場の方の権利を守ることに注意を払いましょう。
問4 ①	解説	バッククッキングは一度に色々な調理をことができますが、投入によりお湯の温度が下がりますので、調理時間に注意してください。
問5	●発災時期による温度（入り口付近）や、防犯面に考慮をし、更衣室などなるべく安全に使用できるレイアウトを考える。 ●スペースに捕われず、通路は必ず必要になるので確保すること。 ●平面ではなく立体的に考え、物資配給所など配置することが大切。	
解説	避難所開設時、早い者勝ちで壁側から埋まっていきます。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も、今後の避難所運営には重要な案件となります。	

災害ボランティアセンター運営について

問6 ②	解説	ガムテープは受付で配布します。毎日替える事で、当日の受付通過を確認し、不正、防犯対策とします。専用シールを使うこともあります。
問7 ①	解説	自己満足は自分勝手な充足であり、被災者の求める支援と乖離する可能性があります。どんな活動でも、自分の中で消化することが必要です。
問8 ①	解説	ゴミ搬出など車両が必要な場合もセンターでできるだけ用意をします。依頼者が用意する場合もありますが、その際の運転は控えましょう。
問9 ④	解説	様式4は個人情報なので、見えない様にすることがポイントです。
問10 ④	解説	営利行為や特定の政治的・宗教的活動への支援は基本的に断りますが、「生活再建」に資するものは受理検討する流れがあります。
問11	ボランティアには、金銭授受はしない旨を再度確認し、受け取った金銭を預かり、依頼者へボランティアセンターから確認する旨を伝える。その際、ボランティアを責めない。 依頼者には、ボランティアは金銭授受できない旨を伝え、返却するか、返却を拒否した場合は、ボランティアセンターの運営資金寄付か、被災者義援金として受け取ってよいか確認する。	

解説	金銭、貴重品授受は固く断ることが前提です。実際は依頼者から、お茶やお菓子の提供など機会が多々ありますが、常識の範囲内で受け取ってください。「ありがとう」の気持ちをすべて無下にする必要はありません。しかし金銭授受はトラブルの元です。
----	---

知多市地域防災計画について

問12 ③	解説	地域防災計画では、平時の行政機構が班に再編成されます。他に、衛生班や水道班など発災時の業務を担当します。
問13 ①	解説	理論上災害想定モデルの地図など計画には載っていますので、自身の住まいなど必ずチェックしておいてください。
問14 ①	解説	自身の安全確保が第一です。確保できない時に他者の救助は2次災害を招きますので、注意しましょう。
問15 ④	解説	平時から市と社会福祉協議会は災害に対する備えをしています。
問16 ④	解説	使用法も計画に載っています。電話以外でもインターネットでの安否確認方法などもこの際に調べてみてください。
問17 A 一時避難場所 B 避難所 C 広域避難場所	解説	「避難場所」と「避難所」の区別はできていますか。避難場所は発災すぐの「避難場所」で、「避難所」にある避難生活を想定した施設、設備などは一般的に整えられていません。オープンスペースの運動場などが割り当てられています。地域防災計画 P99

講師からのコメント

防災士 西川 賢次 さん

災害対応で大切なことは、被災者の身になって考え行動し地元を守ることです。自分勝手な自己満足は絶対に有ってはならないし、ましてや被災者の個人財産を盗み取るいわゆる窃盗は、やってはいけないことです。

災害ボランティアセンターの運営で、行政と連携して中枢を担う皆さんです！みなさんの後ろを駆けつけた多くのボランティアが見ており、災害現場では被災者が見ております。

災害ボランティアセンターの運営マニュアルは、あくまで基本です。柔軟な対応が出来るように繰り返し訓練、シミュレーションをして、その知識技術を向上してください。

防災士 河合 美恵子 さん

問5について気を付けることがたくさん出たものを、それぞれの避難所に合わせて生かされると良いでしょうね。

問11は何回も演習でやっていますが、気になるところです。しっかり確認しましょう。知多市地域防災計画についても確認しておくといいことがいっぱいありますね。